

教科 [英語] 第 [1] 学年	年間指導計画	
*到達目標	月	学習内容
<p>(1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。</p> <p>(3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。</p>	4	<p>Let's Start 身のまわりの英語 I like ~ / I can ~ / 発音 < Program 1 > アルファベット / 大文字・小文字 教室で使う英語</p>
<p>* 評価の観点・方法 (年間指導計画「評価の観点」欄の番号と一致)</p> <p>① 意欲・関心・態度：発表・活動への取り組み・授業態度、提出物、まちがいをおそれずに表現しようとしているかなど。</p> <p>② 表現：定期テスト・暗誦テストや、活動、発表、課題の中で既習事項を適切に使って表現しているかなど。</p> <p>③ 理解：定期テスト・小テスト・ワークシート。</p> <p>④ 言語や文化への知識・理解：定期テストや活動</p>	5	<p>< Program 2 > be動詞 単語・文の書き方 数の言い方</p>
<p>* 使用教材 教科書：SUNSHINE English Course 1 (開隆堂) 副教材：英語のパートナー、英語の重点ドリル (正進社) 「ひろしま型カリキュラム」繰り返し学習用教材</p>	6	<p>< Program 3 > 一般動詞 / 曜日 < Program 4 > What・How manyの疑問文 単数・複数の違い 自己紹介</p>
<p>* 学習上の注意・助言</p> <p>① 授業中、英語の発音やイントネーションをよく聞き、それを真似て大きな声で練習しましょう。</p> <p>② 1時間1時間を大切にし、わからないことは必ず先生に質問しましょう。</p> <p>③ 活動の時は、積極的にいろいろな人とやるようにしましょう。</p> <p>④ 書くときは、発音を意識して丁寧に書くようにしましょう。</p> <p>⑤ 予習・復習の習慣を忘れずに、宿題や課題の期限を守りましょう。</p>	7	<p>< Program 5 > This is ~. / That is ~. Whereの疑問文 / 時刻</p>
<p>* 家庭学習の仕方</p> <p>① 授業のあった日は、必ず教科書・ノートの習ったところを読み直す。</p> <p>② 習った単語や文章を、声に出して言いながらノートに繰り返し練習する。</p> <p>③ ラジオやテレビなどの英語番組を見たり、聞いたりして、耳を鍛える。</p> <p>④ 英和辞書を使って、単語の意味調べをする、本文をノートに写すなどの予習をする。</p> <p>⑤ ワークや問題集などを使い、実際に問題を解いてみる。</p>	9	<p>< Program 6 > 3単現のs Doesを使った疑問文、否定文 月の名前、序数 (日付)</p>
<p>☆ 家庭学習は大切です。 毎日コツコツねばり強く続けていきましょう。</p>	10	<p>< Program 7 > Who・When・Which・Whoseの疑問文 代名詞 < Program 8 > Canの文 / Howの疑問文 人の紹介</p>
	11	<p>< Program 9 > 現在進行形の文 < Program 10 > 一般動詞 (規則) 過去の文</p>
	12	<p>< Program 11 > Whyの疑問文 クイックQ&A 一般動詞 (不規則) 過去の文 日記</p>
		<p>*繰り返し学習用教材を使って授業開始時に15分間ドリルを行う</p>

